

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	厚南バンビ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士(ST)、作業療法士(OT)の専門的な個別療育を提供している。	・個別療育の時間枠を作るように調整している。 ・ST,OTが連携しながら実施するようにしている。	・ST,OTの個別療育の頻度をさらに増やせるようにしたい。
2	・利用児には職員ができるだけ付ける体制をとり、一人一人に丁寧に対応している。	・外に遊びに行くときはリスク管理として、幼児には職員が1対1で見守れるよう配置している。 ・一人一人にしっかりと関わられるようにしている。	・利用児の特性に合わせた関わり方がもっとできるようにしていく。
3	・個別支援計画書の作成だけでなく、半年毎に評価をして、保護者に丁寧に報告・説明をしている。	・アセスメントは全職員がそれぞれの職種の視点で評価するようにしている。 ・保護者の面談を定期的に行い、保護者のケアも丁寧に行うようにしている。 ・地域の園等にも療育の様子を知ってもらうために、アセスメント表や個別支援計画書を保護者の同意を得て提供している。	・園だけではなく、医療機関やその他、利用児が関わっている関係機関にも情報を提供していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との関わりが少ない	・イベントが少ない、又は平日にイベントがない	・日々のお散歩や移動の際に挨拶をかわす。 ・地域で楽しめるイベントを開催する。
2	・園庭がなく、身体を動かす機会が少ない。	・賃貸の建物のため、専用の園庭がない。	・できるだけ近くの公園などに利用児を連れていき、しっかりと身体を動かすようにする。 ・部屋の中でもできる運動を行っていく。
3	・保護者同士の交流会をあまり開催できていない。	・日常の業務に追われ、開催回数が少ない。	・保護者同士の交流会を開催するために、開催時期や開催時間も考慮する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	厚南バンビ		公表日		R8年3月2日		
			利用児童数		3名		
					回収数 66.6%		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1			年齢に応じてスペースを確保しています。広い場所へ行って遊ぶこともあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1			午前中の幼児さんに対しては職員と1対1で対応させて頂いています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				朝の会の場所、活動の場所、昼食やおやつなどの場所など分かりやすく設定しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1			1	毎日、利用児さんが帰宅されてから掃除を行っています。また遊具も定期的に消毒、換気を心がけています
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1			1	今後も職員全体でアセスメントを行い支援計画を作成してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1			1	個別に合わせた支援を行えるよう様々な内容の療育を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				定期的にミーティングを行い、利用児さんの変化を共有するようにしています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1	今後も保護者様と話し合いながら具体的な目標・支援内容を設定してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1			1	支援計画を作成後、3か月ごとに評価を行い必要に応じて計画を再検討しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1			1	発達段階に合わせたプログラムを立案しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1				近隣のキッズスペースや公園などで一般のお子さんたちと交流しています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				見学時・契約時に分かりやすい説明を心がけています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				定期的にモニタリングを行い保護者様の希望を確認しながら支援計画を作成しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2				必要に応じて保護者様のご支援をさせて頂きます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				送迎時や連絡帳のやり取りで伝達やお話をさせて頂いています。必要時は随時電話連絡もさせて頂いています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			定期的に面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1			1	保護者さんとの普段からのコミュニケーションを大切にさせて頂いています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	1	今後、保護者の交流会や勉強会などを開催させていただく予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1			1	今後も引き続き迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					今後も子供さんや保護者様に対して丁寧な配慮に努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				2		毎月パンビ便りを発行させていただいています。 今後も継続させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					ご契約時に個人情報提供の同意書を頂いています。また個人情報の取り扱いには十分注意させて頂いております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		1		1		各種マニュアルを作成し、毎月実施項目を決め避難訓練を実施させて頂いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		1		1		毎月実施項目を決め避難訓練を実施させて頂いています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	1				毎月のお便りに避難訓練の様子を掲載させて頂いています。また緊急連絡先を全利用者様から記入頂いています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					事故や体調不良時は迅速に保護者様にご連絡、必要時は医療機関受診も行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					今後も安心して通える場を提供させていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	1				今後も楽しく通える場を提供させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	1				1人1人に合った支援を今後も提供させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	厚南バンビ				公表日	R8年3月2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	複数の部屋があるため必要に応じて分かれて活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	幼児には1対1で職員がつき安全面を確保している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	活動する場所をわかりやすく設定している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日、利用者が帰られた後に掃除を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個別で支援を行った方が良い時は職員が付き添い別室へ移動している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎月、個別支援会議を実施し支援内容の評価や見直しをおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価内容を受け、職員ミーティングを行い情報共有を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	毎月、職員ミーティングを行い、情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	定期的に第三者委員会を開催し、意見をうかがって業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修開催時は全職員に情報提供し、希望者は参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	毎月のお便りに日々の支援内容を記載し、実施している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	全職員でアセスメントを行い、保護者のニーズも汲み入れながら個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員内で話し合い、検討・作成を行っている。また作成後は回覧を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画を作成したあと回覧を行い、支援に関して日々職員同士で情報共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	必要に応じて発達検査や知能検査を専門職員が行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	利用児に対する直接的な発達支援や家族支援に必要な内容を適切に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	日々の内容は職員同士で検討・実施している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	発達段階に合わせて活動プログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別に合った個別療育・集団療育を組み入れた個別支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	毎日、支援内容を職員間で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		送迎や職員の勤務時間の違いで毎日振り返りを行えていない。 しかし必要な事項は伝達を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の活動の様子を記録し今後の療育に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年ごとにアセスメントを行い保護者面談を実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	児童発達支援管理責任者や担当の保育士など日ごろからの様子をよく理解している職員が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	必要があれば関係機関と連携を図ったり、会議を実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	平行通園先の保育所と必要に応じて連絡を取り合い情報交換を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	就学前相談や要請があれば会議や保護者の付き添いなどを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	平行通所先の保育所と必要に応じて連絡を取り合い情報交換や共有を行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	公園や遊び場などで地域の子どもたちと交流を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎されている保護者とは直接その日の様子を伝えている。 また、LINEで様子を伝えることもある。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	必要に応じて家族支援を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	見学や契約時に分かりやすく説明を行っている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	家族の希望を確認し、作成を行っている。 また作成後も必要時には追加や変更など修正を行っている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	面談時に、丁寧な説明を心がけている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	日々の連絡帳でのやりとりや定期的な面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者会を開催して、保護者同士の交流も図った。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談等の申し入れがあれば迅速に対応できるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎月パンビ便りを発行し活動の様子を掲載している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	契約時に個人情報提供の同意書を頂いている。また、取り扱いには十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	利用児の特性を把握し、配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	地域活動として、障害児スイミングを開催し外部の希望者も受け入れをおこなっている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルを作成し各訓練も月ごとに実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	毎月様々な災害を想定し、訓練をおこなっている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時にフェイスシートを記入して頂き、確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時にアレルギー調査の用紙を記入して頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	各種マニュアルを作成し各訓練も月ごとに実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	各種マニュアルを作成し各訓練も月ごとに実施している。 またお便りにて訓練の様子を掲載している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事故発生時には必ず記入を行い、職員間で共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	定期的に虐待防止の研修会やアンケートを実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	身体拘束の全面禁止を職員に周知している。 現時点で座位保持椅子使用の利用児はいないが今後利用する方が来られた場合は落下防止のベルト着用など同意を頂くようにする。	